

# News Release

2026年3月6日

この資料は BASF が 2026 年 3 月 2 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

## BASF、上海にて Elastollan®の難燃(FR)TPU グレードの商業生産を開始

- 2026年3月から商業供給を開始し、アジア太平洋地域のケーブル業界における対応力と用途開発を加速
- 主な用途は産業オートメーション、ロボティクス、EV 充電など

中国 上海 – 2026年3月2日 – BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)は、上海にある熱可塑性ポリウレタンエラストマー(TPU)工場が、Elastollan®の難燃(FR)TPUグレードの生産資格を取得したことを発表しました。これにより、BASFはFHFグレードとFRグレードの両方を含む、包括的な難燃性ソリューションのポートフォリオを提供することになります。

このマイルストーンは、2023年、アジア太平洋地域のお客様向けに、ハロゲンフリーの難燃(FHF)TPUシリーズの現地生産を開始したことが基盤となっています。今回、FRシリーズを追加することで、BASFはより厳格な使用条件のために強化された難燃性能を提供します。また、FHFシリーズとFRシリーズの両方をアジア地域で生産し、包括的な難燃TPUソリューションのポートフォリオを提供することによって、産業オートメーション、ロボティクス、EV充電などの主要なケーブル分野を支援します。このことにより、現地のコンプライアンス要件を満たしつつ、より迅速かつ自信をもって特殊な難燃ニーズに対応できるようにします。

BASF パフォーマンスマテリアルズ事業本部アジア太平洋地域 TPU ビジネスマネジメント担当バイスプレジデントであるロヒット・ループ・ゴーシュは、次のように述べています。「高度な難燃性と優れた機械特性を兼ね備えた FR グレードを、アジア地域で生産することで、地域市場の特殊な技術要件により迅速に対応できるようになると同時に、戦略的セグメントにおける当社の競争力を強化できます。これはケーブル用途だけでなく、今後は特殊チューブ、ホース、ベルト分野においても同様です。」

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

#### ■BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部について

BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部は、持続可能性と競争力を両立させながら、プラスチック業界の変革をリードしています。BASF 製品の幅広い材料技術と製品ポートフォリオ、そして業界への深い理解により、お客様にとって理想的なワンストップ・ソリューションを提供します。材料分野の専任チームと強力な研究開発力を活かし、世界中のお客様に最先端の技術と専門知識を提供しています。グローバルなネットワークを活かし、イノベーションを推進するとともに、地域ごとのニーズに応じた最適なソリューションを提供することで、競争力を高めています。私たちは、自動車、消費財、インダストリアルアプリケーション、建築・建設などの分野において、性能と効率の向上に貢献し続けています。2024 年、パフォーマンスマテリアルズ部門は世界売上高 68 億ユーロを達成しました。

#### ■BASF について

BASF (ビーエーエスエフ) は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。私たちは、持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追求しています。また、お客様のグリーントランスフォーメーションを可能にする、選ばれる化学会社になるという意欲的な目標を掲げています。全世界で約 112,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、コア事業の事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、ニュートリション & ケア)、スタンドアロン事業の事業セグメント(サーフェステクノロジー、アグロソリューション)から成ります。2024 年の BASF の売上高は 653 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASF の詳しい情報は <https://www.basf.com/global/en.html> をご覧ください。